20231126　猪高の森自然観察会　　2023 年 11 月報告書

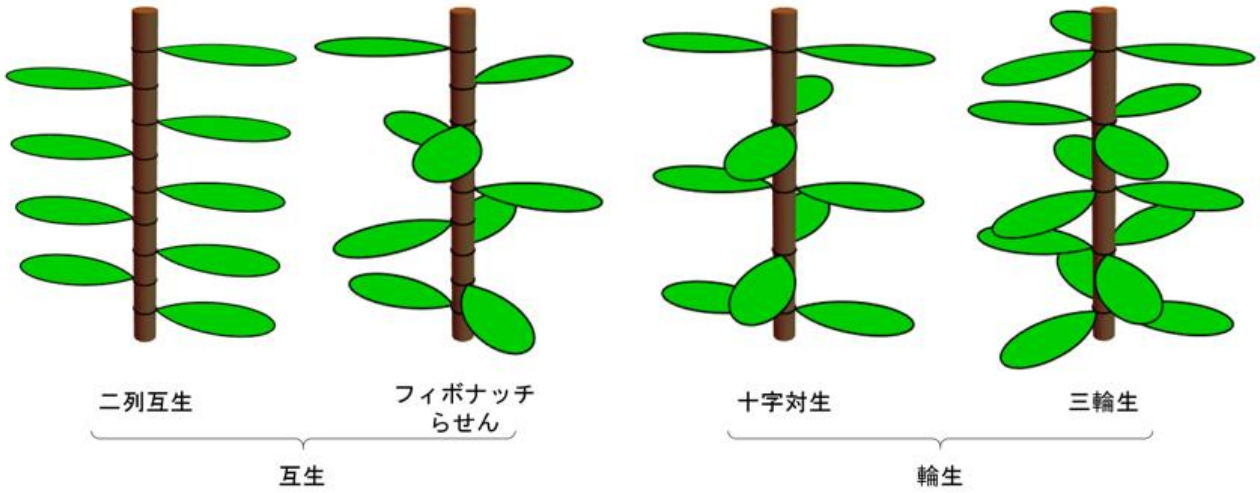
猪高の森自然観察だより　　11 月号

開催日時：2023 年 11 月 26 日（日）
天候：晴　　気温：最低 6.2℃、最高 15.0℃（名古屋に於いて）
テーマ:紅葉と生き物たちの冬支度
参加者構成:一般 13 名(内 NACS-J 会員 5 名)
コース予定:森の集会所 → 井堀の大クス→ 井堀の下池→ 井堀の谷地田（棚田)→
(もどる)→ 塚ノ杁池堤体 → 森の集会所

（左上の画像はドウダンツツジの紅葉）

急に、冬になった感があります。あちこちで見られた桜の狂い咲きだけでなく、他にもいつもと違う事になってしまった花々があるようです。

〇137.5 度を探そう！



（基礎生物学研究所　プレリリース　「植物の葉の配列における対称性の破れ」より）

上の図は代表的な葉の付き方（葉序）の模式図です。これから探そうとしているのは左から２番目の**フィボナッチらせんを描く植物たち**です。
フィボナッチについては、**「数列と黄金比」**がよく使われていますので

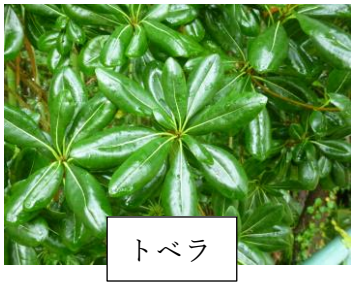
https://www.kyo-kai.co.jp/img/support/motto/motto7.pdf

を参考にしていただくと良いかと思います。

黄金比を円の角度に反映させると小さい方の角度は、約 137.5 度になります。
実際に、137.5 度の型紙を使って、目につく植物を測って観ました。

アカメガシワ

カクレミノ


トベラ

ヒイラギナンテン

ヤツデの花の広がり

ロゼット状態の草

枝先に固まって付いている種類は、対生なのか互生なのかよくわからない状態のものが多々ありましたが、ヒイラギナンテンやアカメガシワ、カクレミノ、ヤツデの葉などはかなり近い角度で付いていました。ヤツデについては、花序までが黄金角のようでした。
植物の進化の中で、太陽光を効率的に受ける手段として発達した末の事とは言え、数理的な数字が自然物の中に存在することの不思議さを感じざるを得ません。

〇スミレも間違えている？

「谷地田（棚田）でスミレが咲いている」の情報が入り、行ってみました。

アリアケスミレがしっかり咲いていました。スミレの仲間は、ご存知のように、普通は春に花が咲きます。最初に見つけたのは 11 月 20 日とのことでしたが、この日までに大分咲き進んでしまったのか、開いていたのは少なく、種をはじいていた莢もあり、急いで咲いていたように見えました。

種を広い範囲に運んでいるとされる「アリたち」もこの寒さでほとんど姿を見かけなくなっています。この時期の開花は今年の暑さと乾燥のためなのでしょうか？

桜があちこちで「狂い咲き」をしている話を聞きますが、このスミレも咲く季節を間違えてしまったのでしょうか？

〇はやにえを探そう！

モズがはやにえを作る理由としては、大阪市立大学が「モズの『はやにえ』の機能をついに解明！」を 2019 年に発表しています。

はやにえ」を沢山作ったオスは、求愛期の 1～2 月にそれを食べ、体力を十分作り、良いさえずりでメスを誘うことができるようになる、との事です。

残念ながら、26 日のこの日は見つけることができませんでしたが、後日改めて 12 月 2 日に見つけることができました。

イナゴのはやにえでした。

〇ドングリの芽出しを育てて見れば・・。

10 月号で根の出始めたアベマキのドングリを紹介しましたが、それを室内の窓際で空きペットボトルを利用して水栽培をしてみました。

根と同じ場所から芽が出始めて、緑色の葉がこんなに大きく育ってきました。

暖かいところでは、もうどんどん地上部も伸びるように仕組みができているようです。

中々楽しいですので、興味のある方は、試してみてください。

〇冬越しの仕方は様々です。

・冬に花が咲く！

キヅタ雄性期

ヤツデ雄性期

キヅタ、ヤツデ、ヒイラギ、ツワブキ、サザンカなどが咲き始めています。
キヅタやヤツデは雄しべが先に熟する雄性期があり、その後で雌しべが熟する雌性期があります。

・虫たちの冬越しは色々です。

カマキリの卵しょう

ヤママユガの卵（卵越冬）

カマキリの仲間は全て卵で冬を越します。成虫は秋遅くまでに死んでしまいます。

チョウやガの仲間は、種類によって越冬の状態が決まっています。卵、幼虫、蛹、成虫それぞれです。

中にはフユシャクのようにこの時期に羽化する仲間もいます。

キリギリスの仲間のクダマキモドキは、木の枝に産卵します。他の仲間は土の中に産卵するので、ちょっと変わっています。

この仲間でもクビキリギスは成虫で冬越しします。

暖かい冬の日などは冬越しをしている虫たちが体を温めに姿を現します。

クダマキモドキの産卵痕

ツマグロヒョウモン（幼虫越冬）

キタキチョウ（成虫越冬）

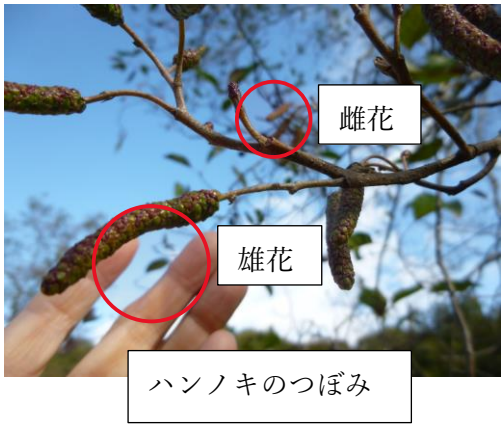
ベニシジミ（幼虫越冬）

ツマグロヒョウモン、ベニシジミとも幼虫の画像は「芋虫・COM」より

・春の開花準備を始めている樹もあります。

ヒサカキのつぼみ

アセビのつぼみ



ハンノキのつぼみ

春に咲く花や樹のほとんどは、花芽の元が冬芽の中にできています。多くは、「芽鱗（がりん）」と呼ぶ鱗のような組織に保護されていて、外側からは見えません。

春に咲くなり、暖かくなるまでその中で待機しています。

☆収穫祭を 11 月 26 日に、こもれび池広場にて開催しました。

春の田植えに始まり、草取り、稲刈り、脱穀、精米を経て、ようやくお米ができます。この日は１年の集大成っ！今年は、夏の高温乾燥のために、収量は思い通りにはいきませんでしたが、お餅を搗き、ご飯を炊いておにぎりをつくり、前日から準備してあった豚汁をあっためてお祝いです。

米作りに参加された方々、田んぼグループの皆さん**「おめでとうございます！ご苦労様でした。」**

田んぼグループでは、現在スタッフを募集しています。米作りを一からしたい方、田んぼの土の暖かさ、優しさを経験したい方、初めての方も大歓迎です。次頁の最後に記載しています HP に連絡先が記載されています。

よいしょっ！

お釜、お釜、鍋がずらり！

☆親子竹刈体験会を 12 月 3 日に開催しました。

すり鉢池近くの竹を親子で切り、その竹を使って、植木鉢や花生け、竹ぼっくりなどおもちゃや道具を作るイベントです。

講師は名東自然倶楽部の「竹クラフトグループ」の方々。

初めての体験の方が多く、楽しい時を過ごしました。

観察会は 12 月はお休みです。

次回観察会は来年 1 月 28 日（日）

森の集会所集合　9：30～です。

名東自然倶楽部の HP では毎月の猪高の森の自然観察会の紹介をしています。

http://sizen.ciao.jp/　**から是非ご覧になってください。**

（右上の自然観察グループをクリックしてください。）